

脳神経外科に、過去に通院・入院された患者さんまたはご家族の方へ  
(臨床研究に関する情報)

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、研究用に保管された検体を用いて行います。このような研究は、厚生労働省・文部科学省の「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」(平成26年文部科学省・厚生労働省告示第3号)の規定により、研究内容の情報を公開することが必要とされております。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の問い合わせ先へご照会ください。

[研究課題名] 脳神経外科疾患患者における座位保持訓練が排泄動作に与える効果

[研究機関名・長の氏名] 北海道医療センター 菊地 誠志

[研究責任者名・所属] 北海道医療センター 2-3病棟 看護師 相田 実可子

[研究代表機関名・研究代表者名・所属]

北海道医療センター 2-3病棟 看護師 相田 実可子, 前田 美咲

[研究協力者]

北海道医療センター 脳神経外科 医師 牛越 聡, 2-3病棟 看護師長 大石 茂

[研究の目的] 車椅子を用いた足底を床面に接地した背面密着型座位訓練を行うことで、排泄動作に関わるFIMに変化があるのかを検証する。

[研究の方法]

○対象となる患者さん

脳血管障害の患者さんで、平成29年7月1日～平成29年9月30日まで、リハビリテーション治療を受けている方

○利用する検体・カルテ情報

カルテ情報：診断名、年齢、性別、身体所見、意識レベル、麻痺の程度(MMT)、リハビリ記録、FIMの関連項目(セルフケアの6項目～4.更衣上半身、5.更衣下半身、6.トイレ動作と排泄コントロールの2項目～1.排尿管理、2.排便管理、移乗の3項目～1.ベッド・椅子・車椅子移乗、2.トイレ移乗、移動の2項目～1.歩行・車椅子)

[研究実施期間]

実施許可日～2018年4月30日(登録締切日：2018年7月31日)

この研究について、研究計画や関係する資料、ご自身に関する情報をお知りになりたい場合は、他の患者さんの個人情報や研究全体に支障となる事項以外はお知らせすることができます。

研究に利用する患者さんの情報に関しては、お名前、住所など、患者さん個人を特定できる情報は削除して管理いたします。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる情報は削除して利用いたします。

2017年10月3日

\* 上記の研究に検体・情報を利用することをご了解いただけない場合は以下にご連絡ください。

[連絡先・相談窓口]

札幌市西区山の手5条7丁目1-1

北海道医療センター 脳神経外科 2-3病棟

電話 011-611-8111 (代表) FAX 011-611-8111